



## 令和4年度 日田市施政方針 ウィズコロナ下での未来社会の創造

に向けた取組」については、移住希望者に対する仕事から住む場所まで一人ひとりに応じた支援や空き家バンクを利用する若者への支援を拡充します。「まちづくり活動への支援」については、行動力のある人材の育成に努め、若い世代のまちづくり活動を支援します。

地域経済を活性化する取組として、引き続き、個人消費を喚起するため、県と連携した地域消費喚起プレミアム商品券を発行します。また、観光業の支援として「日田式GOTOトラベルキャンペーン」の実施、「食」や「体験」を通じて日田の魅力伝える動画の配信、「進撃の巨人」を活用した誘客などに取り組み、観光需要を喚起していきます。

デジタル化が進む社会への対応として、行政運営効率化に向けた自治体業務システムの標準化や共通化、AI・RPAを利用した業務改革などを進めるほか、感染症対策も視野に入れたリモートワーク環境の整備にも着手します。また、市民の利便性向上につながるため、質問に自動応答する機能を備えた電子申請システムの構築を進めるほか、マイナンバーカードの普及促進を図り、行政手続のオンライン化に向けた取組を推進します。学校教育の分野においても、子供たち一人ひとりの学びを支えるため、ICT活用の取組を加速させ、子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進による学習活動の充実を図ります。

### 復旧・復興の取組

令和2年7月豪雨災害については「日田市復旧・復興推進計画」に基づき、被災者の支援と公共施設やインフラの復旧などを進めてきました。引き続き、「被災者への支援」「農林水産業・商工業等への支援」「教育施設・文化財等の復旧・復興」「社会資本等の復旧・復興」の4項目を柱とした各種事業を着実に進めるとともに「次の災害に備える」災害に強いまちづくり・人づくりに取り組みます。

## まちづくりの大綱の推進

**① 市民協働 きずなを強める**

住民自治組織に対する支援や男女共同参画に関する啓発活動を継続し、多様性を認める社会を目指してパートナーシップ宣誓制度の導入、移住定住しやすい環境の充実に努めます。また、オンライン申請に対応できる行政手続の拡大に取り組みます。

**② 福祉 住む安心を高める**

新型コロナウイルスの3回目追加接種の早期完了に向けて取り組みます。上・中津江地区のこども園の整備や障がい者の自立に向けた取組を推進します。また、災害情報を一元管理する防災サーバを活用して危機管理体制を充実します。

**③ 産業振興 やりがいと魅力をつくる**

「日田市農業振興ビジョン」及び「日田もりビジョン」に基づいて農林業の振興を図ります。経営や創業に関する相談に日田市ビジネスサポートセンターで対応するとともに、観光分野の状況変化に対応するため「日田市観光振興基本計画」を改訂します。

**④ 生活基盤 安全で快適に暮らす**

地域高規格道路「中津日田道路」等の更なる整備促進に向けた国や県への働きかけや、市民生活の基盤となる市道の整備に取り組みます。また、地域の実態や利用状況を考慮した交通手段の維持と確保に向けて、地域公共交通計画の策定に取り組みます。

**⑤ 教育・文化 学ぶ楽しさを増やす**

令和3年度に見直した「日田市教育行政実施方針」に基づき各種施策の推進を図ります。ICT機器を活用しながらデジタル教材を導入するほか、教員のICT活用指導力の向上を図り、児童・生徒の情報活用能力や思考力・判断力・表現力を育成します。

**⑥ 環境 水と緑を宝にする**

「第3次日田市環境基本計画」を基本として、循環共生型社会の実現に向けた取組と、新清掃センター建設予定地の整備と施設建設に向けた取組を進めます。また、国が目指す「2050年カーボンニュートラル」に向け、実施可能な取組を検討し対応を進めます。

**日田市を創生する取組**

本市では人口減少や少子高齢化の進展、若者世代の都市部への流出などによって、様々な分野で担い手不足が課題となっており、人口減少の抑制に向けて「第6次日田市総合計画第2期基本計画」の重点施策としてまとめた「第2期日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿って、地方創生の取組を進めています。

新型コロナウイルス感染症が依然として日常生活や経済社会活動に多大な影響を与えている中、本市では感染状況を見ながら、国や県と連携して、ワクチン接種の確実な実施や生活困窮者・子育て世帯や地域経済など、適宜必要な支援を実施してきました。今年度も引き続き、感染症対策の徹底とともに、状況に応じて躊躇せず必要な対策を実施します。

### 市政執行の基本方針

第1回日田市議会定例会で原田啓介市長から施政方針が発表されました。令和4年度市政執行の方針から抜粋して、まちの目指すべき方向性と取組をお伝えします。

地方創生推進課創生企画係  
☎8223 (市役所6階)

進めています。また、新型コロナウイルス感染症の影響で地域経済や市民生活は厳しい状況にある一方、感染症への対応として急速に進む社会のデジタル化への対応も重要となっています。このことから、令和4年度は総合戦略の基本目標「若い世代が住み続けたいと思うふるさと日田を創る」の達成に向けた取組とともに、ウィズコロナ下での地域経済の活性化と未来社会を切り開く取組も推進します。

総合戦略が示す4つの施策のうち「市内での雇用の定着に向けた取組」については、市外へ流出した若い世代のUターン促進策として、日田の仕事の魅力を発信し、地元回帰につなげます。「子育てに関する環境や支援の充実」については、「総合的な子ども支援拠点」の創設に向け、子育ての不安や悩みなどの相談に一元的に対応できる総合窓口を設置するほか、児童家庭支援センターなどの専門機関と連携した、妊娠前から子育て期まで切れ目のない支援を行える施設として整備を進めます。「移住・定住

